

平成30年度総会を開催しました

去る、8月29日にANAクラウンプラザホテル広島において、会員、関係者約100名を集めて平成30年度総会を開催いたしました。

当初7月9日開催を予定していましたが、7月6日の西日本豪雨災害により延期することになり、この度の開催に至りました。

総会の冒頭、豪雨災害で被災された皆様にお見舞い申し上げるとともに、犠牲になられた方々に対して黙祷を捧げました。



総会会場の様子

今回の総会では、平成29年度事業報告・収支決算報告、平成30年度事業計画（案）・収支予算（案）について、審議いただき、各議案ともにご承認いただきました。

また、平成30年度事業計画（案）は、広島県とのタイアップを基本に、「広島県とメキシコ合衆国、グアナファト州との友好提携」「グアナファト州民に喜ばれる」「中長期的に継続可能」の3点と今後の東京五輪までの3ヵ年に渡りメキシコ選手団事前合宿受入の機運醸成につながる企画立案を踏まえて、教育、文化・芸術、スポーツの各部会長より説明いただきました。

議案審議に続いて、グアナファト州より出席のグアナファト広島アミーゴ会会長で、マツダ・メキシコ工場の水谷社長より「グアナファトからの報告—グアナファト日本人学校への寄付のお願い」について説明があり、グアナファト州の現状と日本人学校設立に至った経緯など出席者も関心を持って聞き入っていました。



グアナファト日本人学校について説明されるマツダ・メキシコ水谷社長

総会の最後には、メキシコ大使館商務部のアーロン・ベラ参事官より「何故メキシコ？メキシコのビジネスチャンスに関する最新情報」と題して、講演いただきました。豊富なデータと細かな分析により示された指標などは、メキシコ進出企業ばかりでなく、大変興味深い内容の講演となりました。

今年度、早くも後半となります。来年度、東京五輪に向けて来広するメキシコ選手団に対して、さらなる機運醸成を図るべく準備を進めてまいります。皆様のご協力よろしくお願いたします。



講演中のメキシコ大使館アーロン・ベラ参事官



総会後の懇親会で挨拶をする金井会長



広島グアナファト親善協会

総会資料

日時 平成30年8月29日(水)

17時40分から19時10分まで

場所 広島市中区中町7-20

ANAクラウンプラザホテル広島

総 会 式 次 第

1. 開会のことば

2. あいさつ 会長 金井 誠 太

3. 議 題

第1号議案 平成29年度事業報告

第2号議案 平成29年度収支決算報告

第3号議案 平成30年度事業計画（案）

第4号議案 平成30年度収支予算（案）

連絡事項

4. 「グアナファトからの報告」

5. 講 演 「何故メキシコ？

メキシコのビジネスチャンスに関する最新情報」

講師：メキシコ大使館商務部

参事官 アーロン・ベラ 氏

6. 閉会のことば

平成29年度事業報告

◇5月3日～5日 “2017ひろしまフラワーフェスティバル”に参加

・メキシコ文化を広島の方々に紹介し、メキシコ、グアナファト州との交流を深めるために、前年に続き“2017ひろしまフラワーフェスティバル”に参加し、楽団マリアッチのステージ演奏を提供しました。また、マツダ Zoom・Zoom ひろばでのグアナファト物産販売にも協力しました。



◇5月4日 「マリアッチの夕べ」を開催

・会員ならびにご家族、ご友人を対象に、“2017ひろしまフラワーフェスティバル”出演のために招聘した楽団マリアッチによる演奏と食事を楽しむ交流会「マリアッチの夕べ」を開催しました。未就学児童数名を含む83名にご参加いただきました。



◇5月31日～6月3日 “グアナファト国際フードフェスティバル”に出展

・広島県では、グアナファト州より前年に続いてグアナファト国際フードフェスティバル出展の招待を受け、広島県などの主催で行われた和食料理人コンクールで優秀な成績を収めた若手料理人3名が現地で腕を振るい、当親善協会も出展に協力参加しました。また併せて「友好提携3周年記念夕食会」も開催しました。



◇6月13日 グアナファト州マルケス知事が広島訪問、昼食会を開催

・友好提携3周年を迎えることからマルケス知事をはじめとする7名の方々が広島を訪問されました。当親善協会ではおりづるタワーで昼食会を開催し、会長、副会長、事務局長、部会長がお迎えしました。グアナファト州の文化・芸術、教育、スポーツなどに関する多くのご提案をいただきました。



◇8月2日 グアナファト州の高校生が広島訪問、マツダミュージアムを見学

・広島県のグアナファト州青少年交流事業においてグアナファト州高校生3名と州政府引率者1名が広島を訪問しました。また広島県の在外県人会後継者育成事業で来広した関係者と合わせて20名がマツダミュージアムを見学し、昼食会を開催しました。



◇8月9日 平成29年度総会を開催

・顧問であります広島県商工会議所連合会 深山会頭、広島大学 越智学長をお迎えして、平成29年度総会を開催いたしました。また広島大学産学・地域連携センター平見特任教授が「メキシコ進出の魅力と課題」と題して講演されました。



◇9月13日 「“マリアッチ・アガベ”の演奏と食事を楽しむ会」を開催 ～廿日市市でメキシコ選手団事前合宿地決定の盛り上げに一役～

・マリアッチ発祥の地と言われるメキシコ中央高原ハリスコ州グアダラハラ市出身の“マリアッチ・アガベ”を招聘し、会員、関係者対象に“マリアッチ・アガベ”の演奏と食事を楽しむ会」を、総勢83名を集めて開催しました。また東京五輪メキシコ選手団事前合宿地に決定した廿日市市では、“ゆめタウン廿日市”のステージと“FMはつかいち”に出演し、合宿地決定を盛り上げました。



◇11月18日 「親子メキシコ料理教室」を開催

・友好提携3周年事業として「親子メキシコ料理教室」が、広島ガスショールームガストピアセンターにおいて、小学5年生から中学生までの子供たちと保護者15組が参加して開催されました。メキシコ料理を実際に作ることで、メキシコやグアナファト州をより身近に感じられる有意義な時間となりました。



◇11月30日～12月2日 グアナファト広島アミーゴ会が「日本祭り」を開催

・友好提携3周年を記念して、グアナファト広島アミーゴ会がサラマンカ市、シラオ市、イラプアト市の各会場において、州関係者を中心に、書道、華道、着物の着付け、餅つき、盆踊りなどを体験してもらいました。各会場ともに100名近くの来場者があり、祭りの締めには太鼓囃子で輪になり炭坑節を踊るなど、大盛況でした。



◇2月26日 「メキシコ料理と音楽を楽しむ会」を開催

・恒例となりました「メキシコ料理と音楽を楽しむ会」を法人・団体会員、個人会員35名を集めて、開催しました。また、親善協会歌であります「シェリトリンド」とグアナファト州を代表する曲「カミノ・デ・グアナファト」を全員で合唱しました。



◆理事会の開催

- ・第1回 8月9日 理事25名のうち21名出席(代理出席2名)
- ・第2回 12月18日 19名出席(代理出席5名)
- ・第3回 3月26日 20名出席(代理出席5名)

平成29年度収支決算報告

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 収入の部				
・ 企業団体会費	3,160,000	3,180,000	20,000	
・ 個人会費	600,000	530,000	▲ 70,000	H29年度会費未納
・ 預金利息等		15	15	
収入計	3,760,000	3,710,015	▲ 49,985	
前期繰越金	799,243	799,243	0	
収入合計 (A)	4,559,243	4,509,258	▲ 49,985	
2. 支出の部				
(1) 諸経費				
・ 総会・懇親会費	600,000	575,183	▲ 24,817	
・ 事務費	100,000	99,733	▲ 267	
・ 通信費	70,000	47,720	▲ 22,280	
・ 会議費	300,000	362,699	62,699	理事会3回開催
・ 情報提供費	380,000	379,788	▲ 212	
(2) 事業費				
・ 教育事業費	150,000	13,490	▲ 136,510	青少年交流事業
・ 文化芸術事業費	1,700,000	1,592,480	▲ 107,520	国際フット、マラソン、交流
・ スポーツ事業費	600,000	20,000	▲ 580,000	GTO駅伝未開催、五輪引当繰越
(3) 予備費	150,000	137,652	▲ 12,348	3周年事業、国際映画祭
支出合計 (B)	4,050,000	3,228,745	▲ 821,255	
収支差額 (A) - (B)	509,243	1,280,513	771,270	
次期繰越額	509,243	1,280,513	771,270	リゾット引当繰越480千円
単年度収支差額	▲ 290,000	481,270	771,270	

平成 30 年 5 月 22 日

会 計 監 査 報 告 書

広島グアナファト親善協会 会長 様

広島グアナファト親善協会会則第7条第5項の規定に基づき、平成29年度の会計事務について監査した結果、適正に処理され、相違ないことを認めます。

監事

廣 田 亨 

監事

谷 村 武 士 

平成30年度事業計画(案)

■基本的な考え方

各部会における事業計画は、広島県とのタイアップを基本に、「広島県とメキシコ合衆国、グアナファト州との友好促進を図る事業」、「グアナファト州民に喜ばれる事業」、「中長期的に継続可能な事業」であることを重視し、また、今後3カ年に渡り、東京五輪開催に向けてメキシコ選手団の事前合宿受け入れの機運醸成を考慮した企画・立案を行うものである。

1) 教育部会

① 広島県事業「青少年交流」における派遣および受入の協力 <実施済>

- ・ 広島県およびグアナファト州による高校生の相互派遣事業において、グアナファト州高校生来広時の「歓迎会」、「工場見学会」、「受入企業従業員との交流会」等を実施する。

広島県での受入：7月29日～8月7日 高校生3名、引率1名

(8月1日見学会、昼食会を予定)

グアナファト州での受入：8月7日～8月17日 3名

* グアナファト州においては、グアナファト広島アミーゴ会が対応する。

② 広島県内大学および企業の留学生、研修生の支援事業

- ・ 広島大学、広島修道大学や会員企業等が受け入れる留学生、研修生に対して、歓迎会、工場見学等を実施する。

③ メキシコ文化・歴史に触れる機会の創出とスペイン語の普及活動の促進

- ・ メキシコ滞在経験者やメキシコ人講師によるメキシコ文化・歴史等のセミナーなどを開催する。
また、スペイン語講座や日常的な挨拶等を会員や県民に広め、東京五輪メキシコ選手団受け入れの機運醸成を図る。

2) 文化・芸術部会

① 広島県事業「グアナファト国際フードフェスティバル」への協力参加 <実施済>

- ・ 広島県は、グアナファト州の招待を受け、和食料理人コンクールで優秀な成績を収めた3名の若手料理人とともに、グアナファト国際フードフェスティバルに継続参加する。同フェスティバルは州関係者をはじめ多くのメキシコ人と広島や日本各地から赴任中の日本人が来場し、大変好評である。昨年が続いて、グアナファト広島アミーゴ会の支援の下、当親善協会も協力参加する。

- ・ 開催日程：5月31日～6月2日

②広島県事業「ひろしまフラワーフェスティバルにおいて文化交流団受入」に協力 <実施済>

<グアナファト文化交流団> 楽団：エストゥディアントウナ10名、伝統舞踊：エル・トリート12名、シェフ：3名

- ・楽団、伝統舞踊は5月2日の前夜祭ステージ、3日～5日の4回ステージに出演、3日花の総合パレードに参加し、当親善協会会員有志と共に、2020東京五輪に向けてメキシコ選手団受け入れPRを行う。
- ・シェフは広島県「メヒコ・アミーゴひろば」にて、メキシコ料理試食を提供する。
- ・事前合宿地の市町で楽団、伝統舞踊による機運醸成：廿日市市、東広島市
- ・5月7日“メキシコ料理ガラディナー”への参加

③“メキシコ料理と音楽を楽しむ会”の開催

- ・今年度も会員の交流を目的に“メキシコ料理と音楽を楽しむ会”を計画し、継続開催を予定する。なお、広島大学などのメキシコ人留学生や会員企業のメキシコ人研修生も継続的に招待し、親睦を図る。

④メキシコ音楽を広く紹介する活動

- ・毎年9月開催のフィエスタメヒカーナ（東京・大阪）に出演するマリアッチ楽団“マリアッチ・アガベ”を広島に招聘する。会員や関係者を対象として、本場のメキシコ音楽に親しみ、楽しむ機会を提供する。9月12日“マリアッチ・アガベ”の演奏と食事を楽しむ会」開催予定。

3)スポーツ部会

①「グアナファト・日本駅伝大会」入賞者への記念品贈呈

- ・グアナファト州政府主催の「グアナファト・日本駅伝大会」は、一昨年12月に第1回大会が開催されたが、昨年は未開催であった。今年開催される場合、入賞者に広島ゆかりの「記念品」を贈呈する。

②2020東京五輪メキシコ選手団事前合宿交流・機運醸成活動

- ・当親善協会では、平成29年度より4年にわたり毎年50万円程度をメキシコ選手団事前合宿交流・機運醸成活動に充当する。
- ・9月11日マツダスタジアム、広島対横浜DeNA戦において、当親善協会が招聘する“マリアッチ・アガベ”による国歌（君が代）斉唱を計画し、実施する。
- ・9月12日“マリアッチ・アガベ”をメディアやステージに出演させることにより機運醸成につながる活動を展開する。
- ・その他の活動については、関係機関からの情報収集、検討により決定する。

平成30年度事業カレンダー(案)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
理事会・総会						■8/29 理事会・総会	
実行予定事業	広島で 実行する 事業		■5/2～7 文化交流団 ・ひろしまフラワーフェスティバル ・合宿地市町派遣 ■5/7 メキシコ料理ワークショップ			マリアッチ・アカペラ ■9/11 ・マツダスタジアム 「君が代斉唱」 ■9/12 ・メディア、ステージ出演 ・演奏と食事を楽しむ会 ■8/1 青少年相互派遣 グアアフト高校生見学会	
	グアアフトで 実行する 事業			■5/31～6/2 グアアフト 国際フードフェスティバル		■8/7～17 青少年 相互派遣	
実行可能性のある 事業							

		10月	11月	12月	1月	2月	3月
理事会・総会				↔ 理事会			↔ 理事会
実行予定事業	広島で 実行する 事業		↔ メキシコ料理と音楽を楽しむ会		↔ メキシコ料理と音楽を楽しむ会		
	グアアフトで 実行する 事業	↔ 大学生 工場見学		↔ グアアフト・日本 駅伝大会			
実行可能性のある 事業		←-----メキシコ選手団受入機運醸成活動-----→					

* 実施時期未定の事業は、想定時期を ↔ で表示。

平成30年度事業紹介(1)

“2018ひろしまフラワーフェスティバル”のパレードに参加しました —グアナファト文化交流団受入れに協力—

5月3日(木・祝)から5日(土・祝)の3日間晴天に恵まれ、“2018ひろしまフラワーフェスティバル”が開催されました。3日(木・祝)の花の総合パレードに、グアナファト州から広島県に派遣された文化交流団の楽団「エストゥディアントゥナ」10名と伝統舞踊「エル・トリート」12名と共に、当親善協会からは金井会長、鶴野副会長をはじめ、会員企業の社員や家族と広島県関係者、そしてマツダ本社工場のメキシコ人実習生50名が加わり、総勢120名余りが「広島県&メキシコ・グアナファト“メヒコ・アミーゴ”」チームとして参加しました。

文化交流団の、特に「エル・トリート」は、奇抜な仮面と衣装でパフォーマンスを繰り広げ、注目を集め、出場した111団体の中から、四つの賞のうちの“ユニーク賞”を受賞しました。

フェスティバルの3日間、17世紀に始まった伝統音楽を継承する楽団「エストゥディアントゥナ」と、グアナファト州シラオ市の風習で市民祭りや宗教行事に欠かせない伝統舞踊「エル・トリート」は、それぞれ4箇所ステージを大いに盛り上げ、観客を楽しませてくれました。

また広島県が出展した「メヒコ・アミーゴひろば」では、パネルや民芸品の展示、民族衣装の試着、文化交流団として来広したシェフによるメキシコ料理が振舞われ、当親善協会もマツダ Zoom-Zoom ひろばにおいて、今回で3回目となりますグアナファト物産販売に協力しました。



平成30年度事業紹介(2)

“グアナファト国際フードフェスティバル” 出展に協力参加しました

広島県では、グアナファト州から今回で4回目となりますグアナファト国際フードフェスティバル出展の招待を受けました。同フェスティバルには、今年1月に広島県や調理技能士会など5団体で構成する“料理人コンクール実行委員会”主催の「ひろしま和食料理人コンクール」において優秀な成績を収めた若手料理人3名とともに参加しました。

現地では、今回も日本料理レストラン「SATO」、「SUSHI TAI」などを運営する同グループから料理人やスタッフなど全面的なバックアップを得、また車での移動や通訳などはグアナファト広島アミーゴ会の強力な支援の下、メキシコ、グアナファト州の皆様にご協力いただきました。

同フェスティバルは、各会場ともに大盛況で、州政府や会場各地の自治体関係者、日本各地や広島からの進出企業の日本人など、5月31日のイラプアト市には約180名、6月1日のレオン市には約250名、6月2日のサラマンカ市には約170名の多くの方々にご来場いただき、大変好評を博しました。

当親善協会では、広島県民にメキシコやグアナファト州のことを紹介し、理解していただくばかりでなく、同フェスティバルのように現地、グアナファト州民に広島の文化を伝え、喜んでいただける事業を今後も展開してまいります。



グアナファト州の高校生がマツダミュージアムを見学しました

8月1日(水)、広島県のグアナファト州青少年交流事業として来広のグアナファト州の高校生3名、州政府の引率者1名がマツダミュージアムを見学しました。また、同交流事業と同じプログラムで来広した在外県人会後継者育成支援事業による海外の広島県人会関係者19名を合わせて、総勢23名での見学会となりました。



平成30年度収支予算(案)

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	予算額	前年度実績	差異	備 考
1. 収入の部				
・ 企業団体会費	3,190,000	3,180,000	10,000	
・ 個人会費	620,000	530,000	90,000	
・ 預金利息等		15	▲ 15	
収入計	3,810,000	3,710,015	99,985	
前期繰越金	1,280,513	799,243	481,270	
収入合計 (A)	5,090,513	4,509,258	581,255	
2. 支出の部				
(1) 諸経費				
・ 総会・懇親会費	600,000	575,183	24,817	
・ 事務費	150,000	99,733	50,267	
・ 通信費	70,000	47,720	22,280	
・ 会議費	300,000	362,699	▲ 62,699	理事会3回開催
・ 情報提供費	380,000	379,788	212	ホームページ運営
(2) 事業費				
・ 教育事業費	250,000	13,490	236,510	青少年交流事業、セミナー
・ 文化芸術事業費	1,500,000	1,592,480	▲ 92,480	国際ロードフェス、会員交流
・ スポーツ事業費	600,000	20,000	580,000	GTO駅伝、機運醸成
(3) 予備費	150,000	137,652	12,348	
支出合計 (B)	4,000,000	3,228,745	771,255	
収支差額 (A) - (B)	1,090,513	1,280,513	▲ 190,000	
次期繰越額	1,090,513	1,280,513	▲ 190,000	
単年度収支差額	▲ 190,000	481,270	▲ 671,270	

「メキシコ選手団広島県キャンプ」ロゴマーク使用要領

(趣旨)

第1条 この要領は、広島県が定めた、「メキシコ選手団広島県キャンプ」ロゴマーク（以下、「ロゴマーク」という。）を使用する場合に必要な事項を定める。

(ロゴマークの使用目的)

第2条 ロゴマークは、第32回オリンピック競技大会（2020東京オリンピック）に向け実施するメキシコ選手団広島県キャンプ（以下、「キャンプメヒコ」という。）のイメージを県内外に発信することによりキャンプメヒコの認知度を向上させ、関わる者の愛着や誇りを醸成し、もって日墨友好やスポーツの振興の機運を高めるために使用する。

(権限)

第3条 ロゴマークに関する一切の権限は、広島県が所有する。
2 ロゴマークに係る事務は、広島県経営企画チームが所掌する。

(使用できる者)

第4条 ロゴマークは、次の各号のいずれかに該当する場合を除き、何人も使用することができる。
(1) キャンプメヒコの品位を傷つける場合又はそのおそれのある場合
(2) 自己の商標や意匠とするなど、独占的に使用する場合又はそのおそれのある場合
(3) 法令又は公序良俗に反する場合又はそのおそれのある場合
(4) 特定の政治、思想、宗教、募金等の活動に利用する場合又はそのおそれのある場合
(5) 前各号に定めるもののほか、その使用が第2条に定める使用目的に鑑みて不相当であると広島県が認める場合

(使用の届出)

第5条 ロゴマークを使用しようとする者（以下「申込者」という。）は、使用届出書（別紙様式）を事前に広島県に提出しなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、これを省略することができる。
(1) 国又は地方公共団体が使用する場合
(2) 新聞、テレビ、雑誌等報道関係機関が報道目的に使用する場合
(3) メキシコ選手団キャンプ受入・交流全県推進会議の構成団体又は各構成団体の利用あっせん等により構成団体の会員等が使用する場合
(4) その他、広島県が特に必要と認める場合

(図柄等)

第6条 ロゴマークのデザインは、別表のとおりとし、次条の遵守事項に従って使用するものとする。

(使用上の遵守事項)

第7条 ロゴマークを使用する者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。
(1) ロゴマークの一部を使用したり、縦横比率の変更など、データの改変は行わないこと。
ただし、広島県で製作者の意図に反するものでないと認める場合は、この限りでない。
(2) 届出書に記載した使用目的、使用内容に限って使用すること。
(3) ロゴマークを使用した物件の完成見本（完成見本の提出が困難なものについては、その写真等）を広島県に提出すること。
(4) ロゴマークを使用した物件の使用に当たり、事故等が発生しないよう万全の配慮を行うこと。

(使用の差止め)

第8条 ロゴマークの使用が次の各号のいずれかに該当する場合は、広島県はロゴマークの使用を差し止めることができる。
(1) 前条各号に定める事項が遵守されない場合
(2) 第4条各号に定める事項に該当する場合

(損失補償等の責任)

第9条 広島県は、ロゴマークの使用に係る損失の補償等については、一切の責任を負わない。

(その他)

第10条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附則

この要領は、平成30年2月8日から施行する。

別表



役 員

2018.8.29

役 職	氏 名	企業・団体名／役職名	部会
顧 問	湯 崎 英 彦	広島県知事	
	山 木 靖 雄	広島県議会議長	
	深 山 英 樹	広島県商工会議所連合会会頭	
	越 智 光 夫	広島大学長	
会 長	金 井 誠 太	在広島メキシコ合衆国名誉領事・マツダ(株)相談役	
副 会 長	鵜 野 徳 文	(株)ヒロテック 代表取締役社長	
	岡 谷 義 則	(株)中国新聞社 代表取締役社長	
筆頭理事(兼)事務局長	奥 村 洋 治	(株)フジタ 代表取締役社長	スポーツ(副)
理 事	川 田 淳 雄	カワダ(株) 代表取締役社長	
	高 島 恭 一 郎	住友商事(株) 中国支社長	
	岡 畠 鉄 也	(株)中国放送 代表取締役社長	
	箕 輪 幸 人	(株)テレビ新広島 代表取締役社長	
	西 川 正 洋	西川ゴム工業(株) 代表取締役会長	
	田 島 文 治	広島アルミニウム工業(株) 代表取締役社長	
	池 田 晃 治	(株)広島銀行 代表取締役会長	
	太 田 克 司	広島県環境県民局県民生活部長	文・芸(副)
	梅 木 敏 明	(一社)広島県観光連盟 専務理事	文化・芸術
	神 出 亨	(公財)広島県体育協会 会長	スポーツ
	濱 本 清 孝	広島県地域政策局国際部長	教育(副)
	井 上 隆 志	(公財)ひろしま国際センター 専務理事兼事務局長	
	寄 谷 純 治	(公財)ひろしま産業振興機構 代表理事副理事長	
	河 原 能 久	広島大学大学院工学研究科長	教 育
	木 下 飛 星	広島テレビ放送(株) 専務取締役	
	三 吉 吉 三	(株)広島ホームテレビ 代表取締役社長	
	小 松 節 子	(株)メンテックワールド 代表取締役社長	
	野 坂 文 雄	(株)もみじ銀行 取締役会長	
	浦 上 彰	リョービ(株) 代表取締役社長	
	監 事	廣 田 亨	(株)広島銀行 取締役専務執行役員
谷 村 武 士		広島商工会議所 専務理事	